

# 2012年3月期第2四半期 決算プレゼンテーション

平成23年11月24日

加賀電子株式会社(東証1部:証券コード8154)

〒101-8629 東京都千代田区外神田3-12-8

TEL:03-4455-3131

FAX:03-3254-7133

<http://www.taxan.co.jp>

 **加賀電子株式会社**

# 2012年3月期 第2四半期 決算ハイライト

# ■ 2012年3月期 第2四半期 決算ハイライト

## 連結損益計算書の業績比較

(単位:百万円)

	2011年3月期Q2		2012年3月期Q2		増減	
	金額	構成	金額	構成	増減	増減率
売上高	120,470	100.0%	116,271	100.0%	-4,199	-3.5%
売上原価	104,410	86.7%	101,913	87.7%	-2,497	-2.4%
売上総利益	16,060	13.3%	14,357	12.3%	-1,703	-10.6%
販売費及び一般管理費	13,465	11.2%	13,551	11.7%	86	0.6%
営業利益	2,594	2.2%	805	0.7%	-1,789	-69.0%
営業外収益	388	0.3%	381	0.3%	-7	-1.8%
営業外費用	338	0.3%	257	0.2%	-81	-24.0%
経常利益	2,644	2.2%	929	0.8%	-1,715	-64.9%
特別損益	-23	0.0%	51	0.0%	74	-321.7%
税金等調整前当期純利益	2,621	2.2%	980	0.8%	-1,641	-62.6%
法人税及び住民税	1,084	0.9%	677	0.6%	-407	-37.5%
法人税等調整額	104	0.09%	-48	-0.04%	-152	-146.2%
少数株主利益	20	0.02%	29	0.02%	9	45.0%
四半期純利益	1,412	1.2%	321	0.3%	-1,091	-77.3%

# 連結事業部門別業績実績（2011年3月期Q2及び2012年3月期Q2）比較

（単位：百万円）

	2011年3月期Q2		2012年3月期Q2		増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減比
	利益		利益			
電子部品	88,528	73.5%	83,411	71.7%	-5,117	-5.8%
	2,042	78.7%	636	79.0%	-1,406	-68.9%
情報機器	24,384	20.2%	26,591	22.9%	2,207	9.1%
	139	5.4%	-77	-9.6%	-216	-155.4%
ソフトウェア	2,715	2.3%	1,533	1.3%	-1,182	-43.5%
	298	11.5%	163	20.2%	-135	-45.3%
その他	4,841	4.0%	4,734	4.1%	-107	-2.2%
	209	8.1%	142	17.6%	-67	-32.1%
計	120,470	100.0%	116,271	100.0%	-4,199	-3.5%
	2,594	100.0%	805	100.0%	-1,789	-69.0%

※ 営業利益は、調整前の数字を記載し、合計については調整後の数字を記載しております。

## 主な増減のポイント

### ■「電子部品事業」(半導体・一般電子部品・EMSなどの開発・製造・販売)

既存顧客への拡販や海外におけるEMSビジネスの受注増強および中国ローカル企業への拡販などの営業活動を行ってまいりましたが、国内では東日本大震災や消費減速にともなう取引先各メーカーの生産調整などの影響によりEMS受注先をはじめ各ユーザーからの受注が減少しました。その結果、売上高は834億11百万円となりました。

### ■「情報機器」(パーソナルコンピューター・PC周辺機器・写真や映像関連商品及びオリジナルブランド商品などの販売)

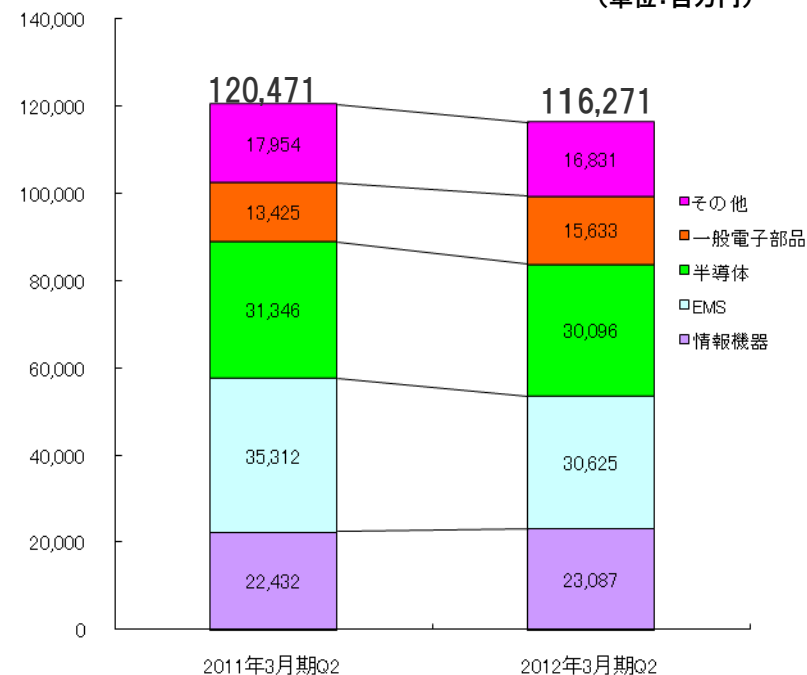
パーソナルコンピューターおよび周辺機器など既存商品の拡販や新商材の開拓および7月の地上アナログ放送終了にともなう地上デジタル放送チューナーの受注が増加しました。その結果、売上高は265億91百万円となりました。

# 【ご参考】 連結商品分類別売上高実績（2011年3月期Q2及び2012年3月期Q2）比較

（単位：百万円）

	2011年3月期Q2		2012年3月期Q2		増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減比
情報機器	22,432	18.6%	23,087	19.9%	655	2.9%
EMS	35,312	31.1%	30,625	26.3%	-4,687	-13.3%
半導体	31,346	26.0%	30,096	25.9%	-1,250	-4.0%
一般電子部品	13,425	11.1%	15,633	13.4%	2,208	16.4%
その他	17,954	14.9%	16,831	14.5%	-1,123	-6.3%
計	120,470	100.0%	116,271	100.0%	-4,199	-3.5%

（単位：百万円）



## 主な増減のポイント

### ■「EMS」売上高：前年同期比－46億87百万円（13.3%減少）

海外におけるEMSビジネスの受注は増加しましたが、国内においては東日本大震災や消費減速にともなう取引先各メーカーの生産調整などの影響によりEMSの受注が減少しました。その結果、売上高は306億25百万円（前年同期比46億87百万円減少）となりました。

### ■「半導体」売上高：前年同期比－12億50百万円（4.0%減少）

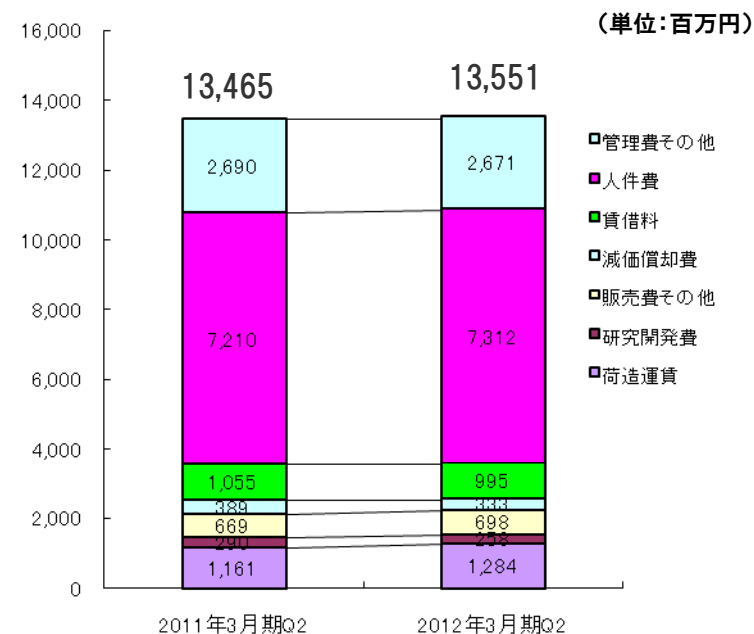
東日本大震災や消費減速にともなう取引先各メーカーの生産調整などの影響により受注が減少しました。その結果、売上高は300億96百万円（前年同期比12億50百万円減少）となりました。

## ・ 販売管理費の状況（2011年3月期Q2及び2012年3月期Q2）

販売管理費増減比較表

（単位：百万円）

	2011年3月期Q2		2012年3月期Q2		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減比
荷造運賃	1,161	8.6%	1,284	9.5%	123	10.6%
研究開発費	290	2.2%	258	1.9%	-32	-11.0%
その他	669	5.0%	698	5.2%	29	4.3%
販売費計	2,120	15.7%	2,240	16.5%	120	5.7%
減価償却費	389	2.9%	333	2.5%	-56	-14.4%
賃借料	1,055	7.8%	995	7.3%	-60	-5.7%
人件費	7,210	53.5%	7,312	54.0%	102	1.4%
その他	2,690	20.0%	2,671	19.7%	-19	-0.7%
管理費計	11,344	84.2%	11,311	83.5%	-33	-0.3%
販管費合計	13,465	100.0%	13,551	100.0%	86	0.6%



### 主な増減のポイント

- **販売費**：荷造運賃・・・加賀電子および加賀ハイテックの荷造運賃が増加したことにより、前年度同期比1億23百万円増加いたしました。
- **管理費**：人件費・・・前年度同期比1億2百万円増加。社員数：111名増加（5,439名→5,550名）。  
 ※増加要因：海外EMS工場で港加賀で178名増加、加賀沢山蘇州で179名増加。  
 ※減少要因：加賀コンポーネントグループの中国およびマレーシア工場で223名減少。

# 2012年3月2Q期決算ハイライト

## 連結貸借対照表の業績比較

(単位:百万円)

	11年3月期 期末	12年3月期 Q2	増減
(資産の部)	114,686	110,147	-4,539
流動資産	92,876	89,827	-3,049
現金及び預金	11,926	10,331	-1,595
受取手形・売掛金	54,173	51,883	-2,290
商品及び製品	15,775	16,126	351
仕掛品	555	776	221
原材料及び貯蔵品	3,189	3,597	408
その他	7,258	7,114	-144
固定資産	21,810	20,320	-1,490
有形固定資産	9,724	9,445	-279
無形固定資産	2,599	2,391	-208
投資等	9,485	8,483	-1,002
資産合計	114,686	110,147	-4,539

	11年3月期 期末	12年3月期 Q2	増減
(負債の部)	66,087	63,049	-3,038
流動負債	56,987	54,875	-2,112
支払手形・買掛金	40,790	36,257	-4,533
短期借入金	8,505	12,525	4,020
その他	7,692	6,093	-1,599
固定負債	9,099	8,173	-926
長期借入金	4,636	3,729	-907
その他	4,463	4,444	-19
(純資産の部)	48,598	47,098	-1,500
株主資本			
資本金	12,133	12,133	0
資本剰余金	13,912	13,912	0
利益剰余金	25,038	24,946	-92
自己株式	-1,332	-1,332	0
評価・換算差額	-2,817	-4,129	-1,312
少数株主持分	1,664	1,567	-97
負債・純資産合計	114,686	110,147	-4,539

## ・連結キャッシュフロー計算書(2011年3月期末及び2012年3月期Q2)の比較

(単位:百万円)

	2011年3月期 Q2	2012年3月期 Q2	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	4,591	-2,446	-7,037
投資活動によるキャッシュフロー	-1,563	-1,449	114
財務活動によるキャッシュフロー	-3,024	2,735	5,759
現金等に関わる換算差額	-351	-383	-32
現金等の減少額	-348	-1,544	-1,196
現金等の期首残高	11,797	11,796	-1
現金等の期末残高	11,449	10,251	-525

### 主な増減のポイント

- 営業活動によるキャッシュフロー:主に仕入債務の減少により、2,446百万円の支出となりました。
- 投資活動によるキャッシュフロー:有形固定資産の取得などにより1,449百万円の支出となりました。
- 財務活動によるキャッシュフロー:短期借入金の増加などにより、2,735百万円の収入となりました。



# ■ 2012年3月期 決算予想

## 連結損益計算書の計画比較 (2011年3月期及び2012年3月期計画)

(単位:百万円)

	2011年3月期(実績)		2012年3月期(計画)		増減	
	金額	構成	金額	構成	増減	増減率
売上高	237,951	100.0%	238,000	100.0%	49	0.0%
売上原価	207,298	87.1%	209,000	87.8%	1,702	0.8%
売上総利益	30,653	12.9%	29,000	12.2%	-1,653	-5.4%
販売費及び一般管理費	27,089	11.4%	26,900	11.3%	-189	-0.7%
営業利益	3,563	1.5%	2,100	0.9%	-1,463	-41.1%
営業外損益	175	0.07%	500	0.2%	325	185.7%
経常利益	3,738	1.6%	2,600	1.1%	-1,138	-30.4%
当期純利益	1,854	0.9%	1,300	0.5%	-554	-29.9%

# 連結事業部門別業績実績（2011年3月期通期及び2012年3月期通期）比較

（単位：百万円）

	2011年3月期通期		2012年3月期通期(予)		増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減比
	利益		利益			
電子部品	171,576	72.1%	162,500	68.3%	-9,076	-5.3%
	2,901	81.4%	800	38.1%	-2,101	-72.4%
情報機器	50,885	21.4%	55,000	23.1%	4,115	8.1%
	72	2.0%	240	11.4%	168	233.3%
ソフトウェア	5,687	2.4%	8,200	3.4%	2,513	44.2%
	487	13.7%	730	34.8%	243	49.9%
その他	9,801	4.1%	12,300	5.2%	2,499	25.5%
	230	6.5%	330	15.7%	100	43.5%
計	237,951	100.0%	238,000	100.0%	49	0.0%
	3,563	100.0%	2,100	100.0%	-1,463	-41.1%

## 主な増減のポイント

### ■「電子部品事業」(半導体・一般電子部品・EMSなどの開発・製造・販売)

タイの大規模洪水により当社グループのビジネスに及ぼす影響も懸念されます。この様な環境の中で、既存顧客への拡販や新規商材および商権獲得により業容の拡大をはかってまいります。

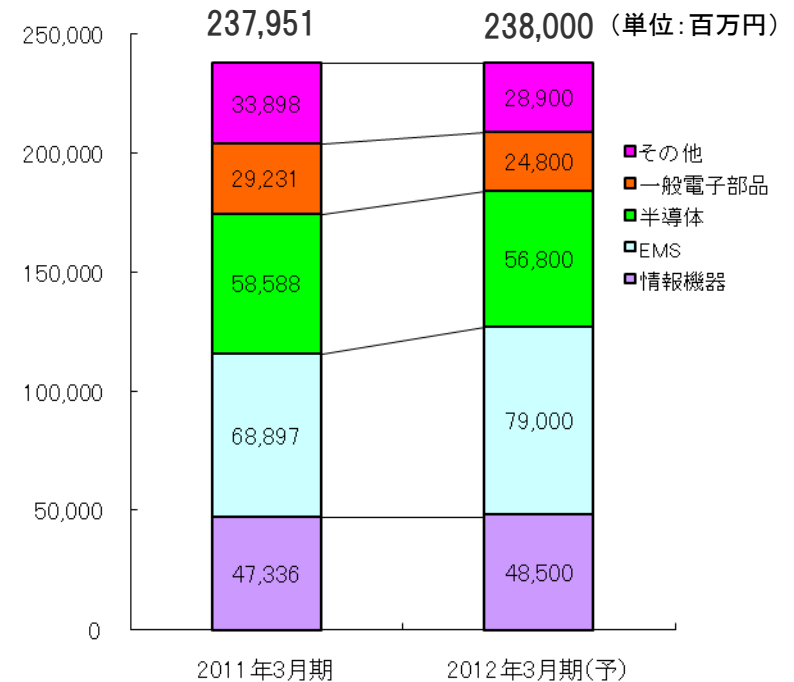
### ■「情報機器」(パーソナルコンピューター・PC周辺機器・写真や映像関連商品及びオリジナルブランド商品などの販売)

パーソナルコンピューターおよび周辺機器などの既存商品やモバイル関連製品など新商材の開発や既存商材の拡販に努めてまいります。

# ■ 連結商品分類別売上高予想（2011年3月期及び2012年3月期計画）比較

（単位：百万円）

	2011年3月期		2012年3月期(予)		増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減比
情報機器	47,336	19.9%	48,500	20.4%	1,164	2.5%
EMS	68,897	29.0%	79,000	33.2%	10,103	14.7%
半導体	58,588	24.6%	56,800	23.9%	-1,788	-3.1%
一般電子部品	29,231	12.3%	24,800	10.4%	-4,431	-15.2%
その他	33,898	14.2%	28,900	12.1%	-4,998	-14.7%
計	237,951	100.0%	238,000	100.0%	49	0.0%



## 主な増減のポイント

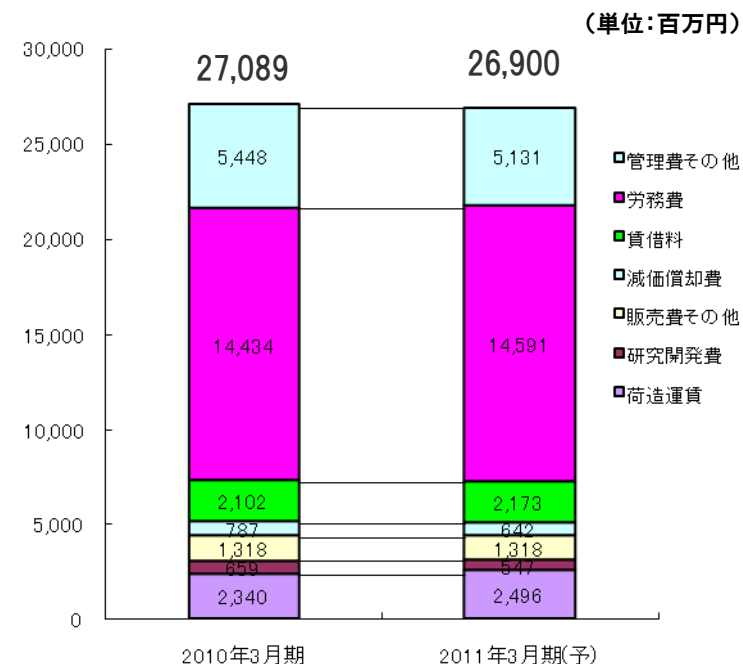
- 「情報機器」: パーソナルコンピュータおよび周辺機器や新商材による受注増加により、前年同期比+11億64百万円 (+2.5%)。
- 「EMS」: 海外EMSビジネスの受注増加により、前年同期比+101億3百万円 (+14.7%)。
- 「半導体」: テレビやデジタル機器など出荷減少の影響により、前年同期比-17億88百万円 (-3.1%)。
- 「一般電子部品」: EMS向け売上計上の振り替えなどにより、前年同期比-44億31百万円 (-15.2%)
- 「その他」: ゴルフ用品販売事業の需要減少などにより、前年同期比-49億98百万円 (-14.7%)

# 販売管理費の状況（2011年3月期及び2012年3月期計画）

販売管理費増減比較表

（単位：百万円）

	2011年3月期		2012年3月期(予)		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
荷造運賃	2,340	8.6%	2,496	9.3%	156
研究開発費	659	2.4%	547	2.0%	-112
その他	1,318	4.9%	1,318	4.9%	0
販売費計	4,317	15.9%	4,361	16.2%	44
減価償却費	787	2.9%	642	2.4%	-145
賃借料	2,102	7.8%	2,173	8.1%	71
労務費	14,434	53.3%	14,591	54.2%	157
その他	5,448	20.1%	5,131	19.1%	-317
管理費計	22,771	84.1%	22,537	83.8%	-234
販管費合計	27,089	100.0%	26,900	100.0%	-189



## 主な増減のポイント

- 販売費：荷造運賃・・・加賀電子および加賀ハイテックの荷造運賃が増加したことにより、前年度同期比1億56百万円増加  
研究開発費・・・エスアイエレクトロニクス製品の開発が完了したことなどにより、前期比1億12百万円減少
- 管理費：労務費・・・前年度同期比1億57百万円増加。※増加要因：海外EMS工場の人員増加など

# 加賀電子グループの対処すべき課題

**1. コスト削減**

**2. 業績不振子会社の黒字化**

**3. 新規ビジネスの創造**

# 対処すべき課題①

## 1. コスト削減

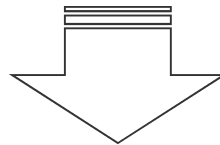
### 販売管理費の削減

当社グループの問題点 ⇒ 利益の大幅減少

(原因)

・売上高の伸び悩み

・販売管理費の増加



間接部門の人員が多く、収益に負担。

## 対処すべき課題②

### 間接部門の人員削減策

管理部門 ⇒ 人員の削減

- ①グループ会社管理部門の業務統一化の実施
- ②子会社の合併と清算により管理部門スタッフを削減

技術部門 ⇒ FAEとして営業の前線に。

### 経費の削減策

本社ビルの自社ビル化

⇒ 移転初年度(2014年)	年間約1億円削減
2年目以降(2015年～)	年間約4億円削減

## 対処すべき課題③

### 2. 業績不振子会社の早期黒字化

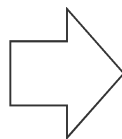
- ・加賀コンポーネント(電源製造) ⇒
  - ①根本的会社組織の見直し
  - ②製造工程管理の見直し
  - ③高収益製品の開発
- ・サイバーフロント(ゲーム開発) ⇒ 経営体質の改善
- ・加賀香港(海外EMS) ⇒
  - ①製造工程の見直し
  - ②受注量の増加



## 対処すべき課題④

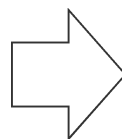
### 3. 新規ビジネスの創造

#### ①海外事業の拡大 (国内生産空洞化)



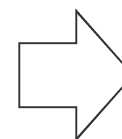
- ・海外ネットワークの拡充
- ・海外営業スタッフの育成
- ・国内営業人員を海外へシフト
- ・海外現地企業攻略のための同業種会社をM&A
- ・インフラ整備

#### ②新規商材の開拓



- ・新しい技術や素材を発掘し、新たな市場を開拓。

#### ③環境ビジネスの拡充



- ・LED照明、太陽光パネル、蓄電池など受注獲得

# 海外事業の拡大 ①

## 拠点網の設置により海外事業の拡充を目指す

- 戦略
- ・中国エリア強化（北京・青島・天津など中国内陸の開拓）
  - ・新興国への進出（アジア、南米、ヨーロッパなど）
  - ・現地ローカル企業の開拓（日系顧客中心ビジネスからの転換）

### 新興諸国への進出

- ◆インドに現地法人を設立（2011年7月設立） ⇒ 三菱電機製パワー半導体や電子部品を取り扱い、日系企業および現地ローカル企業を開拓を目指す。また、インドを拠点として中東等近隣諸国へ進出を目指す。
- ◆インドネシア連絡事務所設立（2012年1月開設予定） ⇒ 日系企業（音響、事務機器、家電等）への拡販と現地ローカル企業の開拓。
- ◆フィリピン連絡事務所設立（2012年3月開設予定） ⇒ 日系企業（車載器等）への拡販と現地ローカル企業の開拓。
- ◆ブラジルへの進出 ⇒ 日系企業向け販売拠点への確立を目指し調査中。

# 海外事業の拡大 ②

## 加賀電子グループ 海外への事業展開





## 加賀電子株式会社

〒101-8629

東京都千代田区外神田3-12-8

住友不動産秋葉原ビル

問合せ先: 広報室

TEL:03-4455-3131

FAX:03-3254-7132

E-mail: webmaster@taxan.co.jp

<http://www.taxan.co.jp>